

2018年10-12月期景況調査のポイント

小山大介（宮崎大学）

1、今期における景況の改善をどう見るか。

「下期に強い」という結果が出たが、実際には個別企業間で大きな開き。

2、サービス業の景況後退傾向をどう分析するのか。

3、消費税増税は本当に行われるのか。

景気後退へのインパクトが大きいのと思われるが。

4、人手不足の再度の高まり、資金繰りの状況について

情報・流通・商業やサービス業では「窮屈感」が顕著になっている。

5、2019年の景気動向をどう見通すのか。

6、年度末に向けた売上高、採算への感触はどうか。



